

# 平成2年度 第19回世論調査「地域福祉」について

## 調査の目的

本調査は、「地域福祉」について、市民の意識・評価・要望などを把握し、基礎資料とすることを目的とした。

## 調査の設計

1. 調査地域 富士市全域
2. 調査対象 富士市在住の満20歳以上の男女
3. 標本数 3,000人
4. 抽出方法 住民基本台帳から等間隔無作為抽出
5. 調査方法 郵送調査
6. 調査期間 平成2年12月5日～12月15日

## 回収結果

1. 発送数 3,000人(100.0%)
2. 回収数 1,504人( 50.1%)

## 集計表

問1 市は「思いやりのある福祉のまちづくり」を進めるために、さまざまな対策を実施していますが、あなたは次の中で特に力を入れるべきものはどれだと思いますか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	母子・父子家庭対策	6.8
(2)	児童福祉対策	9.4
(3)	高齢者福祉対策	61
(4)	障害児者福祉対策	16.8
(5)	生活保護	3.4
(6)	その他	2.6
	計	100

問2 もし、あなたのご近所に身寄りのないお年寄りや障害者が住んでいるとしたら、あなたはどうしますか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	近所の人たちと話し合っ、訪問したり簡単なお世話をしたい	27
(2)	話し相手になるなど自分ひとりのできるお世話をしたい	22.7
(3)	民生児童委員や社会奉仕活動(ボランティア)の人に任せておく	9.9
(4)	家庭奉仕員(ホームヘルパー)の派遣など行政に任せておく	17.8
(5)	わからない	20
(6)	その他	2.7
	計	100.1

問3 仮に、あなたが障害者になったり、年をとって寝たきりになったとしたら、あなたは誰に世話をしてほしいと思いますか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	家族にみてもらいたい	41.5
(2)	家族を中心にみてもらいたいが一歩は行政や家政婦さんにみてもらう	31.9
(3)	行政の在宅福祉サービス(ホームヘルパー)や家政婦さんにみてもらう	3.3
(4)	どこか適当な施設(老人ホーム)があったらに入りたい	19.1
(5)	わからない	3.3
(6)	その他	1
	計	100.1

問4 これからの福祉は、老人ホームなどへの入所による施設福祉よりも在宅福祉サービスが中心になるだろうと言われていますが、あなたはどのように思いますか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	できるだけ自分の家で暮らせるよう、在宅福祉サービスの充実を図るべきである	41.2
(2)	在宅福祉サービスの充実を図るとともに、足りない施設については建設していくべきである	40.6
(3)	施設が足りないので、まず施設を建設すべきである	15.2
(4)	わからない	2.3
(5)	その他	0.7
	計	100

問5 障害のある人や高齢者が地域で生活してゆくためには、在宅福祉サービスのほかにも、生活の場(住宅)を保障することが必要です。そのためには、市はどうすればよいと思いますか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	障害者などのための福祉住宅を建てる	46.7
(2)	市営住宅へ優先的に入居できるようにする	22.9
(3)	民間住宅を借り上げ、障害者などに貸しつける	3.1
(4)	家賃補助制度を設ける	20.7
(5)	わからない	5.3
(6)	その他	1.1
(7)	未回答	0.2
	計	100

問6 老人や障害者の介護に関する相談、生活や子供の健全な育成など、福祉に関することで困ったとき、あなたはだれに相談しますか。2つ選んでください。

番号	選択肢	パーセント
(1)	市福祉事務所や社会福祉協議会、市民相談室などの行政機関	42.5

(2)	民生児童委員や町内会長	11.3
(3)	隣近所の人	6.7
(4)	知人、友人、親戚	36.3
(5)	わからない	2.2
(6)	その他	0.8
(7)	未回答	0.1
	計	99.9

問7 最近、家庭や地域における助け合いの機能が低下してきていると言われますが、あなたはそう感じていますか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	そう感じている	66.2
(2)	感じていない	18.6
(3)	わからない	15.2
(4)	未回答	0.1
	計	100.1

問7-1 「そう感じている」と答えた方に伺います。あなたはこうした機能の低下をどのようにして補ったらよいと思いますか。2つ選んでください。

番号	選択肢	パーセント
(1)	家庭奉仕員制度を充実させる	15
(2)	ボランティア活動を推進・活性化させる	11.8
(3)	老人ホームなどを開放し、地域のお年寄りが利用できるようにする	15
(4)	デイサービス事業(食事・入浴サービスなど)を一層進める	8.5
(5)	地域福祉の核となる、自宅から通える施設(コミュニティセンターなど)をふやす	24.8
(6)	社会福祉センターなど地域の公共施設の活用を図る	12.5
(7)	老人ホームなど入所施設をふやす	10.7
(8)	その他	1.5
(9)	未回答	0.1
	計	99.9

問8 社会福祉協議会は、地域住民が主体となって、社会福祉活動の相互連絡調整や事業を行い地域福祉を進めることを目的とする民間の法人組織ですが、あなたは「富士市社会福祉協議会」を知っていましたか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	よく知っている	6.3
(2)	知っている	22.7
(3)	名前だけは聞いたことがある	45.2
(4)	知らない	25.8
	計	100

問9 地域社会や日常生活の中で、社会のために無料奉仕する「ボランティア活動」に、参加したいと思いませんか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	現在参加している	3.9
(2)	是非参加したいと思う	2.3
(3)	機会があれば参加したい	56.9
(4)	あまりしたいと思わない	18.6
(5)	したくないと思わない	7.6
(6)	わからない	10.6
	計	99.9

問9-1 「したくないと思わない」、「あまりしたいと思わない」と答えた方に伺います。その理由は何ですか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	時間がないから	43.1
(2)	わずらわしく面倒だから	6.6
(3)	関心がないから	4.1
(4)	知り合いがいないから	2.8
(5)	体力や健康に自信がないから	23.4
(6)	お金がかかるから	1.5
(7)	活動や催しの情報がないから	4.1
(8)	技術がないから	3.6
(9)	わからない	1
(10)	その他	6.9
(11)	未回答	2.3
	計	99.4

問10 地域の福祉を支える、「ボランティア活動」は大変重要ですが、社会情勢の変化から人材の確保が困難になってきています。あなたは今後のボランティアのあり方について、どう考えますか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	今までどおり、無償ボランティアの育成に努める	19.5
(2)	無償ボランティアを中心に、不足するものは有償ボランティアを考える	50.6
(3)	学生ボランティアを除き、全て有償ボランティアとする	14.2
(4)	わからない	13.7
(5)	その他	1.8
(6)	未回答	0.1
	計	99.9